								事業番			232	
		"		平成25年	行政事	<u>業レヒ</u>	<u> ニーシー</u>	<u> </u>	(環:	境省)	
3	事業名		遺伝子組換え生物対	 策費	担当	部局庁	É	然環境局		作	成責任者	
	業開始・ (予定)年度		,	担当	i課室	外来	生物対策室		室長	関根 達郎		
会	計区分	一般会計			政策・	- 施策名 5. 生物多様性の保全と自然との共生の推進 5-3 野生生物の保護管理					の推進	
根拠法令 (具体的な 条項も記載) 事業の目的 (目指の3をを度以内) 事業概要 (5行程度以内)		・遺伝子組換え生物等の使用等の規制による生物の多様性の確保に関する法律 (カルタヘナ法) (第4条、第34条、第35条) ・生物の多様性に関する条約のバイオセーフティに関するカルタヘナ議定書 (第11条、第15条、第20条、第27条)				関係する計画、		計画、				
		カルタヘナ法に基づき、遺伝子組換え生物の使用等の規制を行うとともに、最新の知見に基づく規制を実施するための情報収集や国民への情報提供を行い、わが国の生物多様性の確保を図る。									収集や国民へ	
		遺伝子組換え生物の使用承認にあたっての法に基づく学識経験者への意見聴取会合の開催、立入検査の実施、遺伝子組換え生物に関する情報の収集、リスク評価手法の検討、野外での遺伝子組換え生物の生育状況監視、ホームページ(J-BCH)による国民への情報提供等を行う。										
実	施方法	■直接実施	■委託·請負	口補助	□負担	□3	を付 □貸	付 口その	の他			
				22年度	23年度		24年度	25年	度	2	26年度要求	
		当	初予算	59	29		23	18			23	
-		予算を補い	正予算	0	0		0	0	0			
4		況	越し等	0	0	0		0 0				
(単1			計 59		29		23 18			23		
		執行額		28	25		19					
		執行率	(%)	47%	86%		83%					
			成果指標			単位	22年度	23年度	24年	F度	目標値(年度)	
j	目標及び成 果実績 ウトカム)	本事業費では、カルタヘナ法に基づき、遺伝子組換え生物の使用等を適正に規制することを目標としており、そのための審査・承認、情報収集、生態系調査、情報提供を実施しているものであり、件数の増減は外部要因に係				-	-	-	-		-	
		について成果目		承認件数、情報量等また、その他に事業を 。		%	-	-	-	-		
		活動指標				単位	22年度	23年度	24年	度	25年度活動見込	
	指標及び活 動実績	審査に当たり、	25回の学識経験者	遺伝子組換え生物の	を活動実績	検討会 件数	16	19	2	5	- (-)	
	ウトプット)							_			(-)	
		組換え生物について、新たに一般環境中での使用規程 の承認を行った。 審査一件当たりのコスト(6.9万円/審査一件)				遺伝子 組換え 生物審 査件数	52 _	67 _	67 6		- (-)	
	位当たり コスト				承認を行う過程の学識経験者検討会費(専門家諸謝金・旅費、速記 算出根拠 代)、和文英訳を合わせた金額(4.4百万)を、審査件数(64件)で除した もの。						旅費、速記	
平	j	<u> </u>	25年度当初予算	26年度要求			主	な増減理由				
成 2			2	2	カルタヘナ	去の改正	等の検討と施行	犬況の点検に伴	う増。			
5	職	員旅費	1	1								
2	委員	員等旅費	1	1								
6 年	環境係	全調査費	14	19								
度予												
算内												
訳		計	18	23								

(国際のニーズがあるか、回貨を改入してければ事業目的が達成できないのか、人物をの多数、設力と呼吸を持ちられているが、 (地方自治体、民間等に参わることができない事業なのか、 物性が適便されているなど支出先の選定は妥当か。 のが単位が確保されているなど支出先の選定は妥当か。 のが単位が確保されているなど支出先の選定は妥当か。 のは自治は必要をおいて、選生者の対象が表すがある。 のは自治は必要をおいて、選生者の対象を対象に対しているが、表情性が選挙を設すまされがないかの認致が表すでいるが、これではおいないの認致が表すとなっているか。 のは自治に必要をおいてがあるか。 国産者との負担関係は妥当であるか。 国産者との利益を対象に対しているが、実際の適当、アルス・アルス・アルス・アルス・アルス・アルス・アルス・アルス・アルス・アルス・				事業所管部局による点				
(国際のニーズがあらか、自賃を使入しなければ事業自的が達成できないのか、人物をの支援、選ば千韻物と生物でも信仰する代格的などのできない事業なのか、			項目		評価	評価に関する説明		
	国)ニーズがあるか。国費を投入しなければ事	業目的が達成できないのか。	0	遺伝子組換え生物の使用承認にあたっての法に基づく 学識経験者への意見聴取のための検討会の開催、立 入検査の実施、遺伝子組換え生物に関する情報の収		
明報な政策目別は乗目が、の業化・財政・財政・関係の主義を対して、企業が対し、関係の主義と対し、対し、関係の主義と対し、対し、関係の主義と対し、関係の主義と対し、対し、関係の主義と対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対	要投 性入	地方自治	体、民間等に委ねることができない事業なの	0	物の生育状況監視、ホームページ(J-BCH)による国民 への情報提供等を行うなど、遺伝子組換え生物が生物			
受益者との負担関係は妥当であるか。		明確な政策		0	業により行われており、国民のニーズは高く、国が実施			
業施力とからには、いいない。		競争性が	確保されているなど支出先の選定は妥当か	0	0	│ 少額のものを除き、一般競争入札により競争性を確保し た上で選定している。		
# 世生の表別の大学体は妥当か。		受益者との	D負担関係は妥当であるか。	0	請負業務の実施に当たっては、環境省職員が請負先と実施方法等を協議しつつ進めており、業務の途中段階 において確認・進行管理を行っているほか、専門家ヒア			
要金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	の	単位当たり	リコストの水準は妥当か。	0	リングへの環境省職員出席や成果物・報告書等を通し			
要目・使金が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。 不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載) 不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載) 不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載) 不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載) 不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載) 不用率については入札残によるもの。 ② 情別の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。 ((役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載) 器似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。 ((役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載) 器似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。 ((役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載) 素素番号 類似事業名 「財産有能決生物では、対している。」 ○ 本業部と表別を持ている。 ○ 本業部とはおり、違いと記別を担ている。 ○ 本業部とはおり、違いと記別を持ている。 ○ 本業部とはおり、違いと記別を担ている。 ○ 本業部とはおり、違いと記別を担ている。 ○ 本業部とはおり、近いと記別を担ている。 ○ 本業部とはおり、選切と記別を担ている。 ○ 本業の主ななどで生育しているが。 ○ 本業部とはおり、選切と記別を対している。 ○ 本業部とはおり、選切と記別を対している。 ○ 本業の記述に対しているは、のの実施を担めば、のの実施を担めば、のの実施を担めば、のの実施を担めば、のの実施を担めば、のの実施を関している。 ○ 本業の実施を担めは、ために要かなを当か、それに同けた海外の即継事等のの使用策と係る書本・来認等を適正に実施するとともに、国の情報を表と下かかに、カルターオに区が、ままない。 またいる主のより、対している。 ・ 本業と対している。 ・ 本業に対しるといる。 「選佐子組換え生物がとないる」ともいる。 「選佐子組換え生物ので観りないるとと言い、国内をはなる。こと、主がなる。こと、一方で、名古能・プラルンプール経療と素別をしていて、正教者ともいの目のより、それを表別をしている。 またいるに対している。 「選佐子組換え生物のでは、たれぞれ、では、たれぞれ、実自めに応じた。実践等を適正に実施するとともに、国の変化や極度を認している。 は、おは、おは、おは、ないるに対している。 ・ 本業の変化や極度を認している。 は、おは、おは、おは、おは、おは、おは、おは、おは、おは、おは、おは、おは、ないるに対している。 は、おは、おは、ないるに対している。 は、またいるに対している。 は、これでは、またいるに対している。 ・ 本業のでは、ないるに対している。 は、これでは、ないるに対している。 は、おは、は、ないるに対している。 は、またいるに対している。 は、おは、は、ないるに対している。 は、これでは、ないるに対している。 は、は、ないるに対している。 は、またいるに対している。 は、これでは、ないるに対している。 は、これでは、ないるに対している。 は、これでは、ないるに対している。 は、これでは、ないるに対している。 は、またいるに対している。 は、これでは、ないるに対している。 は、またいるに対している。 は、ないるに対している。 は、またいるに対している。 は、またいるに対している。 は、またいるに対しないる。 は、またいるに対しないる。 は、またいるに対しないる。 は、ないる	率	資金の流	れの中間段階での支出は合理的なものとな	っているか。	-	特に、日本版バイオセーフティクリアリングハウスの保・ 事業においては、毎月1回の定例会を実施し、ホーム		
事業業能に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的 あるいは低コストで実施できているか。 ② 情用承認のプロセス、評価資料、調査結果等はホページに掲載し、随時更新している。 ② 情報がは見込みに見合ったものであるか。 ② は、一ジに掲載し、随時更新している。 ② は、一ジに掲載し、随時更新している。 ② は、一ジに掲載し、随時更新している。 ② は、一ジに掲載し、随時更新している。 ② は、は、法に基づき学識経験者へ息見息取を行っているか。 ② は、は、法に基づき学識経験者へ息見更取を行っているか。 ② は、は、活に基づき学識経験者へ息見更取を行っているが、といっては、よの検討会については、よれだり、当切に役割分担をしていては、よれだり、当切に役割分担をしていては、まれだり、当切に役割分担をしている。・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		費目・使途	きが事業目的に即し真に必要なものに限定さ	されているか。	0	を掲載していることを確認し、業務が適切に執行され		
が 表		不用率が	大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右	に記載)	-	不用率については入札残によるもの。		
### 2000	7			易合、それと比較してより効果的	-			
性性 整備された施設や成果物は十分に活用されているか。 類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。 (役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載) 事業番号 類似事業名 所管府省・部局名 事業番号 類似事業名 所管府省・部局名 一 各種謝金、委員等旅費等 農林水産省 場別に当たり検討会に同て実施に関係に受害を関係に対しては、それぞれ当常たに関係で実施に関係に受害を関係に対しては、それぞれ当には、一、大阪設備で知過えていては、自然・地域等における自生ババイヤについての実施と関係となどで生育している。・大阪設備を対しまったなどで生育しているが、イの変態把握や検査については、自然・地域等における自生ババイヤについての実施を対しては、自然・地域等における自生ババイヤについての実施を対しては、自然・地域等における自生ババイヤについての実施を対しては、自然・地域等における自生ババイヤについての実施を対しては、自然・地域等における自生ババイヤについての実施の活となどで生育しているが、イの変態を把握や検査については、自然・地域等における音生ババイヤについての実施の手がでの実施を対している。・大阪設備を対しており、適切に受害が大変できるが実いる。これを養養が実践に対している。・「遺伝子組換えてかる所外での生育が深の調金の場合のは、これが表での発展であるが、執行対決定者が実に予算が残める。」から、一方で、名古を一クアラルンブール補足議定書の構造的がありに、カルタ・ケト法の改正が必要をするが、執行対決定者第末し、予算規模を表面している。一方で、名古を一クアラルンブール補足議定書の締結のからに、カルタ・ケト法の改正が必要であり、名け代の政権等が等の情報収集・分格を行み要がある。これら、子がを行み要がある。これらいたを行政と対象を表し、とらに新かな遺伝子組造ときならよること等、予算規模の加え仕野に入れて対処する必要がある。これらのことを答案え、より効果的な事業とするため、引き続き競争性のある契約・い、事業の実施にあたっては連捗状況を随時把握し、今後も効率的、効果的な事業執行に努める。	の 有	活動実績	は見込みに見合ったものであるか。	0] 使用承認のプロセス、評価資料、調査結果等はホーム ページに掲載し、随時更新している。			
「協の分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		整備された	c施設や成果物は十分に活用されているか	0	0			
事業番号 類似事業名 所管府省・部局名 当省庁上協同で実施し、開催に係る費用については、自然が 違しており、適切に役割分担をしている。・未承認遺伝子組換え、バイヤについては、自然 地域等における自生、バイヤについては、自然 地域等における自生、バイヤについては、実施をは環境者が、民家の庭ななどで生育しているが、 その実態・把握 や検査については農林水産省				0	・遺伝子組換え生物等の第一種使用規程の承認に当たっては、法に基づき学識経験者へ意見聴取を行うことしているが、その意見聴取に当たり検討会を開催する場合にあっては、その検討会については、それぞれの			
□ 信 復		事業番号 類似事業名		所管府省·部局名		当省庁と協同で実施し、開催に係る費用についても交互		
の232 ライフサイエンス研究開発推進経費 文部科学省 に満伝子組換スナタネの野外での生育状況の調査 しては、環境省は河川沿いでの生育動態及び個体における遺伝子の次世代への伝播について、農林 信は港湾地域での輸送時のこぼれ落ちに由来する 域の変化や個体数変動について実施し、それぞれ 策目的に応じた異なる評価軸で調査を実施している。	複排	- 各種謝金、委員等旅費等		農林水産省		・未承認遺伝子組換えパパイヤについては、自然保証地域等における自生パパイヤについての実態把握や査は環境省が、民家の庭先などで生育しているパパイヤの実態把握や検査については農林水産省が実施することとして整理した。 ・遺伝子組換えナタネの野外での生育状況の調査にいては、環境省は河川沿いでの生育動態及び個体群における遺伝子の次世代への伝播について、農林水川における遺伝子の次世代への伝播について、農林水川		
0328 輸入栽培用種子中の未承認遺伝子組換 農林水産省 域の変化や個体数変動について実施し、それぞれ 策目的に応じた異なる評価軸で調査を実施してい 「遺伝子組換え生物対策事業費」については、カルタヘナ法に基づく遺伝子組換え生物の使用等に係る審査・承認等を適正に実施するとともに、国の情報提供を行うために不可欠な経費であるが、執行状況を勘案して予算規模を見直している。一方で、名古屋・クアラルンブール補足議定書の締結のために、カルタヘナ法の改正が必要であり、それに向けた海外の取組事例等の情報収集・分析を行う必要があること、さらに新たな遺伝子結 表生物の開発・利用が進む中、遺伝子組換え生物の利用が拡大してきている状況を踏まえ、より効果的な事業とするため、引き続き競争性のある契約して、事業の実施にあたっては進捗状況を随時把握し、今後も効率的、効果的な事業執行に努める。	除	0232	232 ライフサイエンス研究開発推進経費 文部科学省					
点 検		0328	農林水産省		省は港湾地域での輸送時のこぼれ落ちに由来する生育域の変化や個体数変動について実施し、それぞれの旅策目的に応じた異なる評価軸で調査を実施している。			
行政事業レビュー推進チームの所見 現状 引き続き効率的な執行に努めること。 り 所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況	点検結果	の情報提信 締結のたる え生物の ること等、	供を行うために不可欠な経費であるが、執行 めに、カルタヘナ法の改正が必要であり、そ 開発・利用が進む中、遺伝子組換え生物の 予算規模の拡大も視野に入れて対処する必	〒状況を勘案して予算規模を見ī れに向けた海外の取組事例等の 利用が拡大してきている状況を♪ な要がある。これらのことを踏まえ	直している の情報収録 踏まえ、市 え、より効	。一方で、名古屋・クアラルンプール補足議定書の早期 集・分析を行う必要があること、さらに新たな遺伝子組換 「民からモニタリングの充実や規制の強化を求められてし 果的な事業とするため、引き続き競争性のある契約を行		
現 状 通 り 所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況 現				外部有識者の所見				
現 状 通 り 所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況 現								
状 通 り 所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況 現				亍政事業レビュー推進チーム	の所見			
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況 現		状 通	引き続き効率的な執行に努めること。					
		*	所見を踏	まえた改善点/概算要求にお	おける反同	央状況		
い 通 り り		状 通	引き続き効率的な執行に努める。					
				備考				

関連する過去のレビューシートの事業番号

185

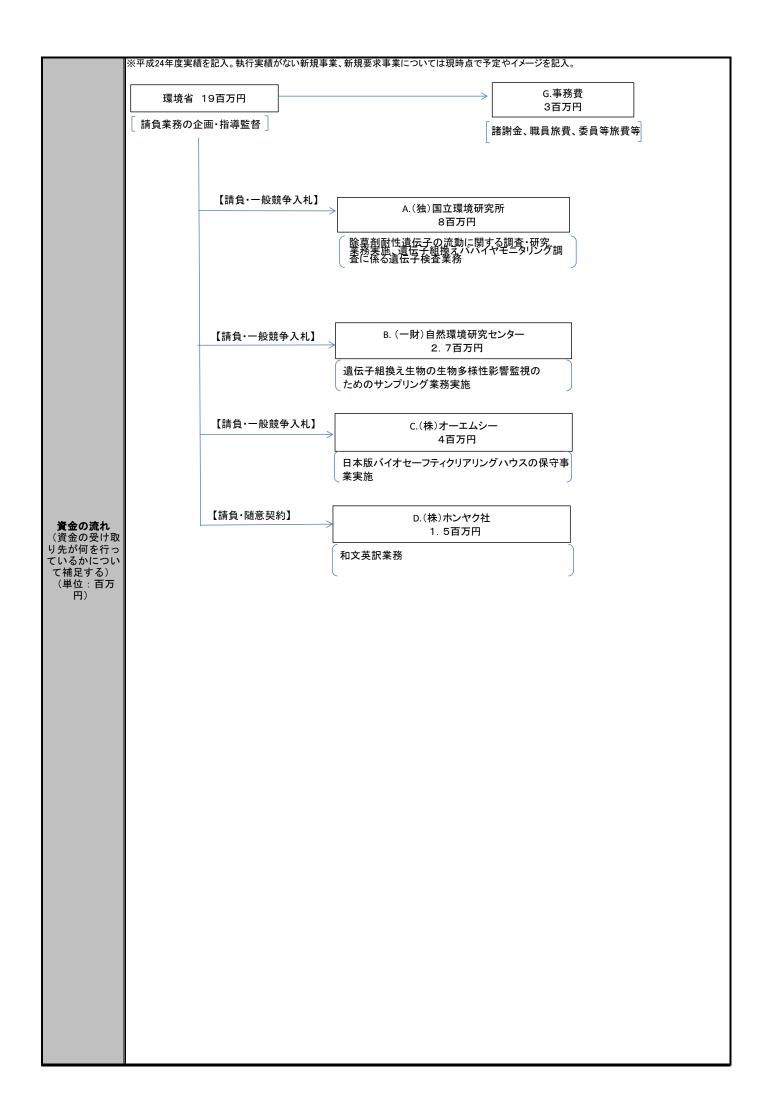
平成23年

平成24年

194

平成22年

194



		A.(独)国立環境研究所			E.	
	費目	使 途	金額(百万円)	費目	使 途	金額(百万円)
	消耗品費	試薬類、実験用器具、文房具	3.5			(Д/311/
	雑役務費	派遣職員	2			
	一般管理費		1.1			
	備品費	核酸調整用機器	1			
	その他	旅費、印刷費等	0.4			
	計		8	計		
	Е	B.(一財)自然環境研究センター			F.	
	費目	使 途	金額(百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
	人件費	研究主幹等	1.6			
	旅費	現地調査旅費	0.6			
費目・使途	その他	借料及び損料、印刷製本費等	0.2			
負日・快速 (「資金の流れ」に おいてブロックご	一般管理費		0.3			
とに最大の金額						
が支出されている 者について記載						
する。費目と使途 の双方で実情が						
分かるように記 載)						
	計		2.7	計		
		C.(株)オーエムシー	& &=		G.	
	費目	使 途	金額(百万円)	費目	使 途	金額(百万円)
	人件費	主任技師等	3.9			
	その他	印刷費、通信費、交通費等	0.1			
	=1			=1		
	<u>計</u>	- /// 1 / //	4	計		
		D.(株)ホンヤク社	金額		H.	金額
	費目	使 途	(百万円)	費目	使 途	(百万円)
	本業務(は請負契約であり成果物の対価として支	払いを			
	行うもの	のであるため、精算報告書等の提出を要さ その支出の透明性を図るため任意で提出	ない			
		での文面の透明性を図るため任息で提出 ところ回答を得ることができなかった。	以供			
	計			計		
	ĒΙ			ĒΙ		1

支出先上位10者リスト

	支 出 先	業務概要	支 出 額(百万円)	入札者数	落札率
1	(独)国立環境研究所	未承認遺伝子組換えパパイヤモニタリング調査に係る遺伝子検査業務	5	1	96%
	(独)国立環境研究所	除草剤耐性遺伝子の流動に関する調査・研究業務実施	3	1	75%

В.					
	支 出 先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(一財)自然環境研究センター	遺伝子組換え生物の生物多様性影響影響監視のためのサンプリング業務 実施	2.7	1	89%

C.					
	支 出 先	業務概要	支出額(百万円)	入札者数	落札率
1	(株)オーエムシー	日本版バイオセーフティクリアリングハウスの保守事業実施	4	2	80%

	支 出 先	業務概要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
-	(株)ホンヤク社	和文英訳	1	随契(少額)	-
2	(株)ホンヤク社	和文英訳	0.5	随契(少額)	-